

事務事業名		内水面資源増殖事業			<input type="checkbox"/> 実施計画登載事業	<input type="checkbox"/> 合併建設計画登載事業
政策体系	政策名	05 豊かな市民生活を実現する産業の振興			事業期間	
	施策名	19 地域活力を担う水産業の振興				
	基本事業名	01 漁業資源の確保			<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始 平成18 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【計画期間】 年度～ 年度 ※全体計画欄の総投入量を記入	
根拠法令						
所属	部課名	農林水産部 水産課			予算科目 会計 款 項 目 事業 01 06 03 02 20	
	係名	振興係	電話	27-3111		
			内線	374		
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述) 内水面漁業の天然資源の増殖を図るため、市内の内水面における第五種共同漁業権の免許を受けた者が、岩手県内水面漁場管理委員会が指示する増殖目標の達成に向けて行う放流用種苗の中間育成を実施する場合に要する経費に対し、予算の範囲内で、市補助金交付規則及び内水面資源増殖事業費補助金交付要領により、補助金を交付する。補助率は4/10(予算の範囲内)。 市内で内水面における第五種共同漁業権の免許を受けているのは、吉浜漁協と盛川漁協であるが、放流用種苗の中間育成を実施しているのは盛川漁協におけるアユのみとなっている。 主な業務内容は次の通り。①盛川漁協のアユ種苗の中間育成に係る補助金交付申請の受付。②盛川におけるアユ資源状況調査に関する研究機関との調整及び調査の実施。③事業終了後、補助金交付。					全体計画(※期間限定複数年度のみ) 総投入量(千円) 事業内訳 国庫支出金 都道府県支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計(A) 0 人件費 正規職員従事人数 延べ業務時間 人件費計(B) 0 トータルコスト(A)+(B) 0	

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
① 手段(主な活動) 前年度実績(前年度に行った主な活動) ・盛川漁協のアユ種苗中間育成に係る補助金交付の手続き事務。 ・北里大学海洋生命科学部の協力の下、盛川におけるアユ資源状況調査を実施。 今年度計画(今年度に計画している主な活動) 前年度と同じ。		名称 単位 ア 中間育成アユ種苗放流数 kg イ ウ	
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等 (直接の対象)盛川漁協 (間接の対象)内水面資源(アユ資源)		⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標) 名称 単位 カ 盛川漁協組合員数 人 キ ク	
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 内水面資源(アユ資源)の増殖を図る。		⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) 名称 単位 サ アユ種苗放流目標指示達成度 % シ ス	
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか) 水産資源が確保される。			

(2) 総事業費・指標等の推移									
		年度	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(目標)	26年度(目標)	27年度(目標)	28年度(目標)	
投入量	事業費	国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円	44	300	300	300	300	300
		事業費計(A)	千円	44	300	300	300	300	300
	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1	1
		延べ業務時間	時間	16	16	16	16	16	16
		人件費計(B)	千円	64	64	64	64	64	64
		トータルコスト(A)+(B)	千円	108	364	364	364	364	364
⑤ 活動指標	ア	kg	1,000	1,550	800	800	800	800	
	イ								
	ウ								
⑥ 対象指標	カ	人	221	215	215	215	215	215	
	キ								
	ク								
⑦ 成果指標	サ	%	125	194	100	100	100	100	
	シ								
	ス								

事務事業ID	1216	事務事業名	内水面資源増殖事業
--------	------	-------	-----------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等			
① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 盛川漁協では、内水面資源の増殖を目的として、放流用アユ種苗の生残率を高めるための中間育成施設を整備し種苗放流を行っているが、その取り組みに対して、市の助成を求める要望があった。			
② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは前期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？ 東日本大震災(H23.3.11)で発生した大津波により、河川域に遡上していた天然アユの早期遡上群が壊滅状態となっており、盛川のアユ資源量は大震災前年の約1/5へと激減した。このため、産卵に参加する天然魚が減少し、再生産にも大きく影響を及ぼしたことが明らかとなった(北里大学海洋生命科学部2011年調査結果より)。 このことから、震災等の不測の事態にも対応できるような、種苗放流等の人的管理体制の強化が望まれている。			
③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？ ②で上述したように、大津波により盛川の天然アユ資源が激減したことから、より一層、種苗放流の必要性が増しており、それに対する市の支援の継続が望まれている。			

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】⇒ 水産業の振興を図る上で、内水面資源の増殖を目的とした盛川漁協によるアユ放流用種苗の中間育成は、水産資源の確保に結びつく。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】⇒ 盛川漁業によるアユ放流用種苗の中間育成は、内水面資源の増殖を目的とした取り組みであり、当市の内水面漁業の振興につながることから、他市町村の状況から見てもある一定の行政支援は妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】⇒ 現在、市内で中間育成を行っているのは、盛川漁協のアユ種苗のみである。放流効果を高めるための中間育成への助成であり、内水面漁場管理委員会が指示する増殖目標である種苗放流の全てが対象となりうることから、対象・意図との適正である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】⇒ すでに、岩手県内水面漁場管理委員会が指示する増殖目標以上の種苗放流を行っており、成果は十分得られている。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】⇒ 近年の河川改修等の人為的影響の他、東日本大震災による大津波の影響によって、天然資源が激減しており、種苗放流等の人的資源管理が必要である。よって、事業の廃止・休止は資源の持続的利用を困難にする可能性がある。 また、市内水面漁業振興に係る支援事業は他に無く、当該事業を廃止した場合、市の水産業振興が海でのものに偏り、公平性に欠けることとなる。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ⇒ (具体的な手段, 事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】⇒ 類似事業がない。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】⇒
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】⇒ 盛川漁協では、岩手県内水面漁場管理委員会が指示する増殖目標に従って種苗放流量を決めており、第五種共同漁業権の免許を受けている以上、この放流量を勝手に減らすことはできない。また、盛川漁協では、これまでも県内水面漁連に頼らない独自のネットワークにより、より安価で良質な種苗の購入しているほか、自前での種苗の開発・生産に着手しており、既に事業費の削減に努めていると言える。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】⇒ 業務内容は事業主体の盛川漁協との事務手続き、北里大学など研究機関との調整などそれほど多くなく、必要最低限の人員、時間で実施しており、これ以上の人員削減の余地はない。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】⇒ 当該補助事業の対象となり得る事業主体は、内水面の第五種共同漁業権を持つことができる組合等全てで、公平性は確保されている。また、その助成の額からみても受益者負担すべき分まで助成しているとは考えられない。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

<p>(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること)</p> <table border="1"> <tr> <td>① 目的妥当性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>② 有効性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>③ 効率性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>④ 公平性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> </table>	① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	② 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	③ 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	<p>(2) 全体総括(振り返り、反省点)</p> <p>アユは仔稚魚期に海域で生活するため、持続的な資源増殖を図るには河川域だけでなく海域での資源保護も必要である。但し、アユの海洋生活期における生態は不明であるため、現状で行える資源増殖事業としては、種苗放流は最も有効な手段である。</p> <p>従って、内水面資源の増殖を目的とした盛川漁協によるアユ放流用種苗の中間育成への支援は、市の事業として適切であると考ええる。</p>									
① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
② 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
③ 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
<p>(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可)</p> <p><input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持</p> <p>事業のやり方改善 (<input type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 公平性改善)</p> <p>(上記方向性に対する具体的な内容)</p> <p>水産業振興を図る上で、内水面資源増殖を目的とした種苗放流は欠かせないものであることから、継続して当該補助事業を実施していかなければならないと考えている。</p>	<p>(4) 改革・改善による期待成果</p> <p>左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。(廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		●	×																		
	低下		×	×																		
<p>(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等</p> <p>特になし。</p>																						

(職名) ※原則として施策の主管課長 (氏名)

4 事務事業の2次評価結果

2次評価者	水産課	
-------	-----	--

<p>(1) 1次評価結果の客観性と出来具合</p> <p>①記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択)</p> <p><input type="checkbox"/> 記述不足でわかりにくい</p> <p><input type="checkbox"/> 一部記述不足のところがある</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 記述は十分なされている</p> <p>②評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択)</p> <p><input type="checkbox"/> 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されてない)</p> <p><input type="checkbox"/> 一部に客観性を欠いたところがある</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)</p>																						
<p>(2) 2次評価者としての評価結果</p> <table border="1"> <tr> <td>① 目的妥当性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>② 有効性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>③ 効率性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>④ 公平性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> </table>	① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	② 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	③ 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	<p>(3) 評価結果の根拠と理由</p> <p>内水面資源の増殖を目的としたアユ放流用種苗の中間育成への支援は、市の事業として適切であると考ええる。</p>									
① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
② 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
③ 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
<p>(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可)</p> <p><input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持</p> <p>事業のやり方改善 (<input type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 公平性改善)</p> <p>(上記方向性に対する具体的な内容)</p> <p>現状どおり継続して事業を実施する。</p>	<p>(5) 改革・改善による期待成果</p> <p>左記(4)により期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「○」で記入する。(廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		●	×																		
	低下		×	×																		

5 最終評価結果

(1)行政経営推進会議等での指摘事項
